

(石井委員)

- 江戸時代のサステナブルなライフスタイルを知ること、温故知新の精神で、新たなエコツーリズムにつなげていくことができる。また、江戸時代だけでなく、明治や大正時代も魅力的ではないか。
- 昼にできることが夜でも楽しめることには非常に意義があるが、星空など、夜ならではの面白さを追求していくことも大切
- 江戸の歴史・文化とナイトタイムとつなげ、都内の歴史的文化財をライトアップし、これを巡る観光ルートを提案したい。ライトアップにより、昼間は景観に埋没しがちな歴史的建造物の魅力を引き出すことができる。

(田中委員)

- 江戸の部会でお話いただいた知見を活かし、観光において、見る・食べるだけでなく、その背景にある文化や伝統、日本人が何を大切にしてきたのかを理解してもらえよう工夫していくことが大切
- 大学などの協力を得て、江戸の歴史・文化をアカデミックツーリズムとして楽しめるようにできると良い。点をつないで、江戸の風情を楽しめるゾーンを作っていくことも有効
- SNS等インターネットを頼りに観光することが一般的になってきたが、コンシェルジュによるレコメンドでナイトタイム観光を楽しむなど、人のつながりも大切にしていきたい。

(根木委員)

- パリのオリンピック・パラリンピック大会でエッフェル塔や凱旋門がフィーチャーされていたように、東京も、伝統的な建造物などをもっとアピールできるとよい。
- 夜は安全な通路などがライティングされているので意外と車椅子で移動しやすく、ナイトタイム観光はユニバーサルに楽しめる。また、比較的涼しい夜間は、スポーツを観光コンテンツとしてもっと活かしていける。
- 言語の壁が課題との調査結果があったが、手話も言語のひとつ。デフリンピックを契機として手話や文字でのコミュニケーションを促進するなど、様々な障害に伴う「言語の壁」の解消が進むとよい。

(星野委員)

- 今に残る「江戸」としては、水路がわかりやすい。水路を活用した魅力的な景観は、東京ならではの魅力になる。また、水戸と連携することで、観光客の分散や、リピーターの増加につながるのではないか。
- ナイトタイムの過ごし方として、まずは夕食だが、特定のお店に外国人客が集中している。東京にはもっと評価されるべき良いレストランがたくさんあるので、こういう面でも分散が図られるべき。
- ライドシェアについて様々な議論があるのは承知しているが、旅行者の分散を図る上で重要。東京は広いので、遅い時間帯に郊外から都心に戻ってくるための手段として大切

(マリ・クリスティーヌ委員)

- **江戸**が、多くの水路が巡る「**水の都**」であったことは魅力的。また、**リサイクル**等が進んだ**サステナブルな町**であったことも、**江戸の魅力として強調**していいのではないか。
- **江戸と日本各地の藩との交流**を通じて、様々な文化が江戸に集まった。**世界中の食を楽しめる**など東京の**コスモポリタン**な性格は、こうした交流を通じて育まれたのではないか。
- ナイトタイム観光について、**インターネットでチケットを購入しやすい環境の整備**が進むとよい。また、まだ**海外に紹介されてない魅力的なコンテンツ**がたくさんあるので、**掘り起こして発信**することが大切